




令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【北九州市】

学校名【北九州市立藤松小学校】

1 実践テーマ	I ・ II ・ III ・ IV ・ V (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	対象学年：5年生・6年生 クラス(人数)：5年1組(30名)、6年1組(19名)、6年2組(19名) 特別支援学級(5年児童2名、6年児童1名)
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名(総合的な学習の時間) ② 行事名() ③ その他() (2) 地域における活動 ① イベント名() ② その他()
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> パラリンピックの種目「ボッチャ」についてルールや内容を知るとともに、パラスポーツの意義について考えるようにする。 「ボッチャ」の体験を通して、ボッチャの魅力を感じたり、障がい者スポーツへの理解を深めたりするようにする。
5 取組内容	<p>(1) 「I'm possible」を活用してパラリンピックについて知り、関心をもつ。</p> <p>(2) パラリンピック種目「ボッチャ」について知り、関心をもつ。</p> <p>(3) 北九州市スポーツセンターアレアスの職員を招いて、「ボッチャ」体験を行う。</p> <p>① 講師の方の説明と模範演技(写真1)</p>  <p>② 児童のボッチャ体験(写真2・3)</p>  

	<p>(4) これまでの学習や体験を振り返って、オリンピック・パラリンピック精神、障害者への理解、共生社会について考える。</p> <p>① 児童の振り返り（資料4）</p> <div data-bbox="501 219 1347 452" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>いました。10ラリンピックは少し自分の中でもあまり興味 味がなかったし、身近に感じていかなかったけど、ボッチャを 体験して、すごく身近にあるんだなと感じることができ ました。ボッチャはいろいろな場所で行える</p> <p style="text-align: right;">資料4</p> </div>
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ボッチャ体験を行うことによって、児童はパラスポーツに興味をもち、他の人にも広めようという意欲が高まった。 ○ 児童にとって新しいスポーツ競技を体験することで、スポーツをすることの楽しさや魅力を再発見することができた。
<p>7 実践において工夫した点 （事業の特色）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「If possible」を活用した学習や競技映像の視聴を体験学習の前に位置付けたことで、ボッチャのルールや競技の仕方を知ったうえで体験学習に臨むことができた。 ○ 北九州市障害者スポーツセンター「アレアス」から講師を招いて体験学習を実施したことで、児童は競技の専門性だけでなく、パラスポーツの意義についてもより意欲的に学ぶことができた。
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合的な学習の時間を活用して、より学びを深めるような単元設定を行えばよかった。次年度、検討する。 ○ ボッチャについて、担当学年だけの学びになっているところも課題だと考える。今後は、ルールを理解しゲームを実施し指導する教員を増やし、全校を挙げての取組になるようにする。 ○ 本校の人数であれば、体育館において十分な体験活動を行うことができたが、大規模校の場合、学級数に応じて時間を分けて行う等の工夫が課題になると考える。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 来年度は、ボッチャ以外のパラスポーツについても体験を通して学習する機会をつくる予定である。その際には、北九州市障害者スポーツセンター「アレアス」と連携を図るようにする。 ○ ボッチャ集会を行い、パラスポーツの意義について体験を通して考える機会をつくる。